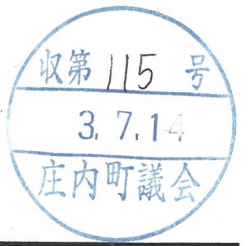


議長 副議長 事務局長 書記



庄内町議会「町民と語る会」申込書



令和3年7月12日

庄内町議会議長 様

| | |
|----------|----------------------|
| 団体名等 | 狩川地区自治会長会 |
| 代表者名 | 会長 安藤 一雄 |
| 住所 | 庄内町狩川字楯下50番地 |
| 連絡先(TEL) | 0234-56-3308 (狩川公民館) |

次のとおり、「町民と語る会」の開催を申し込みます。

| | | |
|---|---|----------------------------|
| 「語る会」のテーマ ※具体的な要望や質問事項がある場合は、下段の個別事項に記載ください。 | テーマ 立川地域選出町議会議員と狩川地区自治会長との懇談会 (吉宮茂議長、小野一晴議員、齋藤秀紀議員、加藤将展議員、長堀幸朗議員) (個別事項：別紙の提出でもかまいません。) | |
| | ①地域運営組織の指定管理委託料について(予算確保等の地域要望) ②立川庁舎(複合施設)の活用、指定管理の関わりについて(地域運営組織の負担とならないよう地域要望) ③風車建設と地域振興について(現状や予定について議員から発言していただきたい) | |
| 希望日時 | 第1希望 | 令和3年11月2日(火) 15時30分～17時00分 |
| | 第2希望 | 年 月 日() 時 分～ 時 分 |
| | 第3希望 | 年 月 日() 時 分～ 時 分 |
| 参加予定人数 | 自治会長21人、狩川公民館長、係長 | |
| 開催会場 | ※役場内の会議室を開催会場として使用することも可能です。 庄内町狩川公民館「大ホール」 | |
| 備考 | | |

※事務局記載欄

第1班 / 第2班 / 第3班 / 第5班

総務文教厚生 / 産業建設

「町民と語る会」報告書

| | | |
|----------------------|---|-------------------|
| 開催日時 | 令和3年11月 2日 (火) | 午後3時30分 ~ 午後6時00分 |
| 団体等名 | 狩川地区自治会長会 | |
| 開催場所 | 狩川公民館「大ホール」 | |
| 出席議員 | 吉宮 茂、小野一晴 (司会・進行)、齋藤秀記 (班長)、加藤将展 | |
| | 長堀幸朗、スルタン ヌール | |
| 参加人数 | 18名 安藤一雄 (会長) 石川 久 (監事) 佐藤 均 (理事) 佐藤 一 (理事) 石川俊一 (副会長) 石川精一 (館長) 秋庭亮一 (係長) | |
| 主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など | <p>(1) 地域運営組織の指定管理委託料について (2) 立川庁舎 (複合施設) の活用、指定管理の関わりについて (1) (2) は一括質疑応答・意見</p> <p>質問1: 地域運営組織の指定管理委託料の算定が既に示されており、先程の説明にもありましたとおり、人件費等含めた施設の経費その他が指定管理委託料の大きなところとなりますが、人件費が安いと感じます数万円でもよいので増額ならないでしょうか? 回答: 初年度~2年度まではこれまでの様式に合わせていくので残高が発生しない予定。これからは、センターの自運営に任せる、収益事業となるので、増収になればそれを人件費に回すということも可能性はあるかも知れません。</p> <p>質問2: 新しく設立された「カラフルの会」が4月から独立して運営していかなければならないので大変です。希望になりますが、それについて相談できる企画の方が余目庁舎ではなく立川総合支所に在籍して頂けることを希望いたします。 回答: 狩川公民館に関しては、係長からこのまま1年仕事をして頂くことになったと言う経緯があり、再度人事異動の発動する纏まる前に町長当局の方にはっきりと要望としてお伝えしたいと思います。 (2号様式に続く)</p> | |

庄内町議会議長 殿

令和3年11月14日

庄内町議会「町民と語る会」実施要領の規定により提出します。

令和3年度町民と語る会

班長 齋藤 秀紀

「町民と語る会」報告書(2号様式)

主な「質疑」
「意見」「要望」
「提言」など

質問3:指定管理委託料について、5年間同じですが報告からは高いのか低いのか分かりません。今現在、狩川公民館を運営している経費と比較してどのような状況なのか分かれば教えて頂きたい。また、管理運営費を節減した場合や収入が増えた場合、還元や運営費として残る形にして頂けるのか。

回答:資料は5年間の平均で交付金の事が書いてあります。

実績により予算要求を行っている。自主運営の場合、利益に関してはセンターの次年度の経費からは差し引かれたいと確認している。また、新しい事業については交付金があります。

(3) 風車建設と地域振興について

質問1:見学会に参加致しました。発電の状況を教えてください。

回答:12基が発電中ですが8基が11月1日から売電しております。

4基(大堰台)は12月1日から売電予定ですが、今は試行的に発電している状況です。

質問2:地元の方で、林道等の事で色々な意見・問題が出ておりますが、問題がある場合、環境防災課に行けば対応して頂けるのか?

回答:風力発電の担当部署は環境防災課になります。相談していただければ対応出来ると思います。ただし、最終決定は協議になると思います。

まとめ

1. 林道について近辺、整備が行き届いていないため、発電企業から頂く1,200万円の寄付金でしっかり整備して頂きたい。
2. 観光についても中山間地域の活性化という形で、またカラフルの会が立てかけられる産業振興部会の内容についても地域振興という事で発電企業から頂く1,200万円の寄付金を役立てて頂きたい。

(4) その他

1. カートソレイユについて

質問1:カートソレイユを町民が利用しているのは極一部なのでみんなが参加できるようなイベントを行う必要があるのではないか。

回答:多くの町民の皆さんが参加できるような場所にしていくと言う話が出ている。

意見

1. カートソレイユは堤防の内側にあるので水害が毎年一回はある。場所の移動が出来ないか。
2. カートソレイユは毎年赤字で町からの補助が殆どなく設備がない。山の方に持っていくと言う案もよいかもしれませんが、商工観光課で引き続き活性化するため案を考える方が良い。
風車の税金で地域活性化町づくりをしたらどうかと思っている。
3. カートソレイユは、興味がある人だけ来るので宣伝が不足している。大々的に説明してみんなが周知できるようにしたほうがよい。

庄内町議会「町民と語る会」申込書

収第 217 号
3.10.2
庄内町議会
令和3年10月27日

庄内町議会議長 様

団体名等 清川地区振興協議会
代表者名 会長 渡邊 和 能
住 所 庄内町清川字花崎1-2
連絡先 (TEL) 0234-57-2211(事務局 清川公民館)



次のとおり、「町民と語る会」の開催を申し込みます。

| | | | |
|---|---|----------------|---------------|
| 「語る会」のテーマ ※具体的な要望や質問事項がある場合は、下段の個別事項に記載ください。 | テーマ 清川地区の振興策について (個別事項：別紙の提出でもかまいません。) | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●複合型避難施設整備の要望書提出における庄内町議会の考え方について ●御殿林再生事業(継続)について | | |
| 希望日時 | 第 1 希望 | 令和3年11月17日 (水) | 15時00分～16時00分 |
| | 第 2 希望 | 年 月 日 () | 時 分～ 時 分 |
| | 第 3 希望 | 年 月 日 () | 時 分～ 時 分 |
| 参加予定人数 | 26人 | | |
| 開催会場 | ※役場内の会議室を開催会場として使用することも可能です。 清川公民館 2階 和室 | | |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> ●町民と語る会終了後、懇親会(会費1,000円)を行います。 ●立川地域選出の庄内町議会議員のみなさまに、本会より別途案内を送付いたします。 | | |

※問合せ先

庄内町議会事務局 E-mail : gikai@town.shonai.yamagata.jp

Tel : 0234-42-0189 / Fax : 0234-42-0896

※事務局記載欄

第1班 / 第2班 / 第3班 / 第4班

総務文教厚生 / 産業建設

「町民と語る会」報告書

| | | |
|----------------------|---|-----------------|
| 開催日時 | 令和3年11月17日(水) | 午後3時00分～午後4時00分 |
| 団体等名 | 清川地区振興協議会 | |
| 開催場所 | 清川公民館 | |
| 出席議員 | 吉宮 茂(議長)・小野 一晴(班長)・齋藤 秀紀・加藤 将展 | |
| | 長堀 幸朗・スルタン ヌール | |
| 参加人数 | 18名 渡部桂一(立川総合支所長)・渡邊和能(会長)・石塚俊(副会長)・齋藤 満(理事)・菅原昭治(理事)・小野利雄(理事)・澁谷利雄(理事)・阿彦康信(事務局長)・廣田幸記(監事)・池田博史(監事) | |
| 主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など | 清川地区振興協議会との町施策についての意見交換は、以下のとおり。 | |
| | <p>(1) 複合型避難施設について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難場所をあちこちに作るより、合理化のため管理を一か所で出来る方がよい。 2. 避難施設は体育館くらい(剣道場二面)の大きさの他に緊急物質の保管・備蓄物質の倉庫を配備できる大きさが必要である。 3. 日中は若い人が仕事でいないため、高齢者が自らの力で歩いて避難できるような移動可能な適地に避難場所を整備していただきたい。 4. 合併してから立川地区の災害対策が手薄になっているように見える。 議会では、そのように考えていない。 5. 避難施設及び、建設場所がまだ決まっていないと言う事は、前町長と協議会とでは、考えのズレがあるため話し合いが必要と思われる。 <p>(2) 御殿林散策路等整備における「御殿林再生事業」について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今後も拡大して継続していきたい。 2. 山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業(市町村型)を活用して整備していただきたい。 <p>(3) その他 来年度より庄内町議員全員からの出席をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> | |

庄内町議会議長 殿

令和4年1月26日

庄内町議会「町民と語る会」実施要領の規定により提出します。

令和3年度町民と語る会

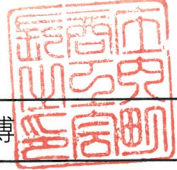
班長 小野 一晴

庄内町議会「町民と語る会」申込書

令和3年9月16日

庄内町議会議長 様

| | |
|-----------|----------------|
| 団体名等 | 庄内町商工会 |
| 代表者名 | 会長 大滝 正博 |
| 住所 | 庄内町余目字三人谷地13-1 |
| 連絡先 (TEL) | 0234-42-2556 |



次のとおり、「町民と語る会」の開催を申し込みます。

| | | | |
|---|---|--------------------|------------------------------|
| 「語る会」のテーマ ※具体的な要望や質問事項がある場合は、下段の個別事項に記載ください。 | テーマ 「域内循環型の地域経済を構築するには」 「若者に町議会議員を目指してもらうには」 (個別事項：別紙の提出でもかまいません。) | | |
| | 希望日時 | 第 1 希望 | 令和3年11月19日 (金) 15時30分～17時15分 |
| | 第 2 希望 | 年 月 日 () 時 分～ 時 分 | |
| | 第 3 希望 | 年 月 日 () 時 分～ 時 分 | |
| 参加予定人数 | 商工会役員 25人 | | |
| 開催会場 | ※役場内の会議室を開催会場として使用することも可能です。 庄内町 商工ふれあい会館 | | |
| 備考 | | | |

※事務局記載欄

第1班 / 第2班 / 第3班 / 第5班
総務文教厚生 / 産業建設

| | | |
|----------------------|--|-------------------|
| 開催日時 | 令和3年11月19日 | 午後3時30分 ~ 午後5時15分 |
| 団体等名 | 庄内町商工会 | |
| 開催場所 | 庄内町商工会館(コアアルザ) | |
| 出席議員 | 吉宮茂 鎌田準一 加藤將展 | |
| | 長堀幸朗 國分浩実 小林清悟 五十嵐啓一 | |
| 参加人数 | 23名 大滝正博会長他18人の理事 事務局4人 | |
| 主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など | <p>※上記団体との各テーマについての意見交換は、以下のとおり。</p> <p>1 域内循環型の地域経済を構築するには</p> <p>(1) キャッシュレス決済導入に向けた支援について (要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済の推進は消費者に利便性をもたらし、事業者の生産性向上やコロナ感染防止対策としても有効であり、地域経済に大きなメリットがある。現在はゆりカード、ハッピーシールを活用して、町の入学祝い金はゆりカードで支給している。 令和3年6月にペイペイを活用したスマートフォン決済による支援を行った。8千万円の利用があり経済効果を含め目標は達せられたので、今後も継続してほしい。 ・商工会ではキャッシュレス化プロジェクト会議を立ち上げ、域内循環型キャッシュレス決済導入に向けた調査研究を進めている。その実現のため、中小、小規模事業者に対するシステム導入、活用への助成、加えて地域における消費喚起の基盤構築のため、地域で一体的に行うキャッシュレス決済導入に向けて町に支援を要請している。議会からも理解と支援をお願いしたい。 <p>(議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト会議を立ち上げて検討に入っているとのことだが、具体的な内容について常任委員会として承知していない部分も多 (2号様式に続く) | |

庄内町議会議長 殿

令和4年 1月20日

庄内町議会「町民と語る会」開催要領の規定により提出します。

産業建設常任委員会

委員長 鎌田 準一

「町民と語る会」報告書 (2号様式)

い。過去に商店街アーケード撤去について常任委員会の調査事件とし、町に提言し解決に至った事例もある。要望書を町だけでなく議会にも提出することで委員会の調査事件とすることも可能なので検討していただきたい。

(議員)

- ・域内だけの運用はどうか。消費の拡大につながらないのではないか。
- ・ハッピーシール、ゆりカードの存続ができなくなるのではないか。
- ・プレミアム商品券やペイペイを活用した運用時には、その期間だけ売り上げが伸びたが、実施期間が過ぎたら売り上げが激減したかどうか。

(商工会長)

プレミアム商品券事業では、約400余りの事業者が換金手続き対象となった。仮に域内でスマホによる独自のキャッシュレス決済システムを導入することになれば、決済手数料がなくなることや、庄内町の小売業の売り上げが約10億円程度あることなどから、そのうち約250店舗程度の参加で構築可能なものと想定している。コロナ禍の状況をチャンスと捉え、新たなシステム、商法、商品開発を見出す必要がある。

(2) 入札について

(商工会理事)

- ・図書館の改築工事に伴い、設計が中央の業者に決定している。地元の設計業者でも対応できると思うがどうか。
- ・町発注の大型工事で町内の施工業者を優先できないか。
- ・企業誘致を促進しても、就労人口減少により対応できないと思う。町内への移住者を促進することが必要ではないか。

(議員)

- ・町の大型施設の設計にあたっては、プロポーザル方式で応募した中から決定している。仕組みとしてはどの業者も参加できるが、町内の業者は規模的なこともあり応募しなかったと思う。
- ・大型工事の発注に際しては、議会としても町内業者が受注できる機会を得るため、町に申し入れを行っている。
- ・町内には優秀な企業が多くある。企業の特徴や技術などを冊子にしてPR活動を行うことで、優秀な人材のIターン、Uターンにつながると思う。
- ・町内に移住する条件として、企業に就職しても長期間雇用してもらえるのか、家族も含め安心して生活できるかが課題である。これらを含め空き家を活用して、社宅として提供できれば移住者と雇用の拡大につながるのではないか。

2 若者に町会議員を目指してもらうには

(商工会理事)

- ・特別職報酬等審議会委員でしたが「若い人は子育てや教育などに経費がかかる。町民の理解は厳しいと思うが議員定数はそのまま(16人)でも、報酬は600万円くらいでもよいのではないか」と審議会では発言した。

(議員)

- ・現在の議員報酬は約350万円程度ですが、若い人が立候補するには、きっかけ作りが大事だと思う。
- ・議員を目指すには大きな不安がある。その状況の中で立候補を決意するには、活動している団体の推薦など後押しが必要ではないか。
- ・商工会理事の皆さんの後継者を、教育も含めて議員を目指すことも方法と思う。
- ・承知の通り、特別職報酬等審議会から町長へ議員報酬24万円、定数14人という答申がなされました。令和4年3月定例会では正式に成立する予定となっています。

議会にける定数・報酬等の議論については、なり手不足解消調査特別委員会及び具現化委員会の報告書が、議会ホームページで公開されていますので是非ご覧下さい。